

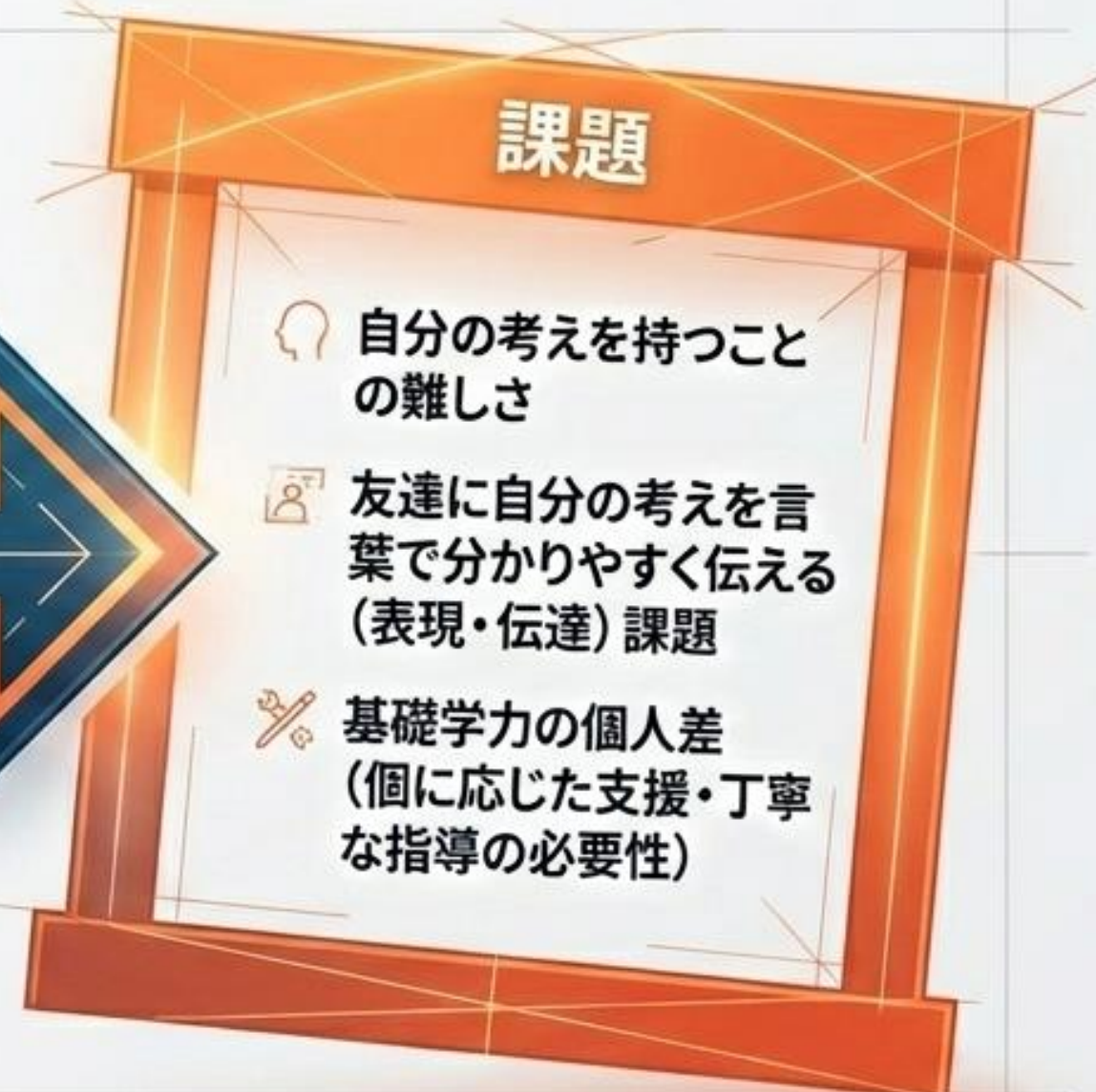
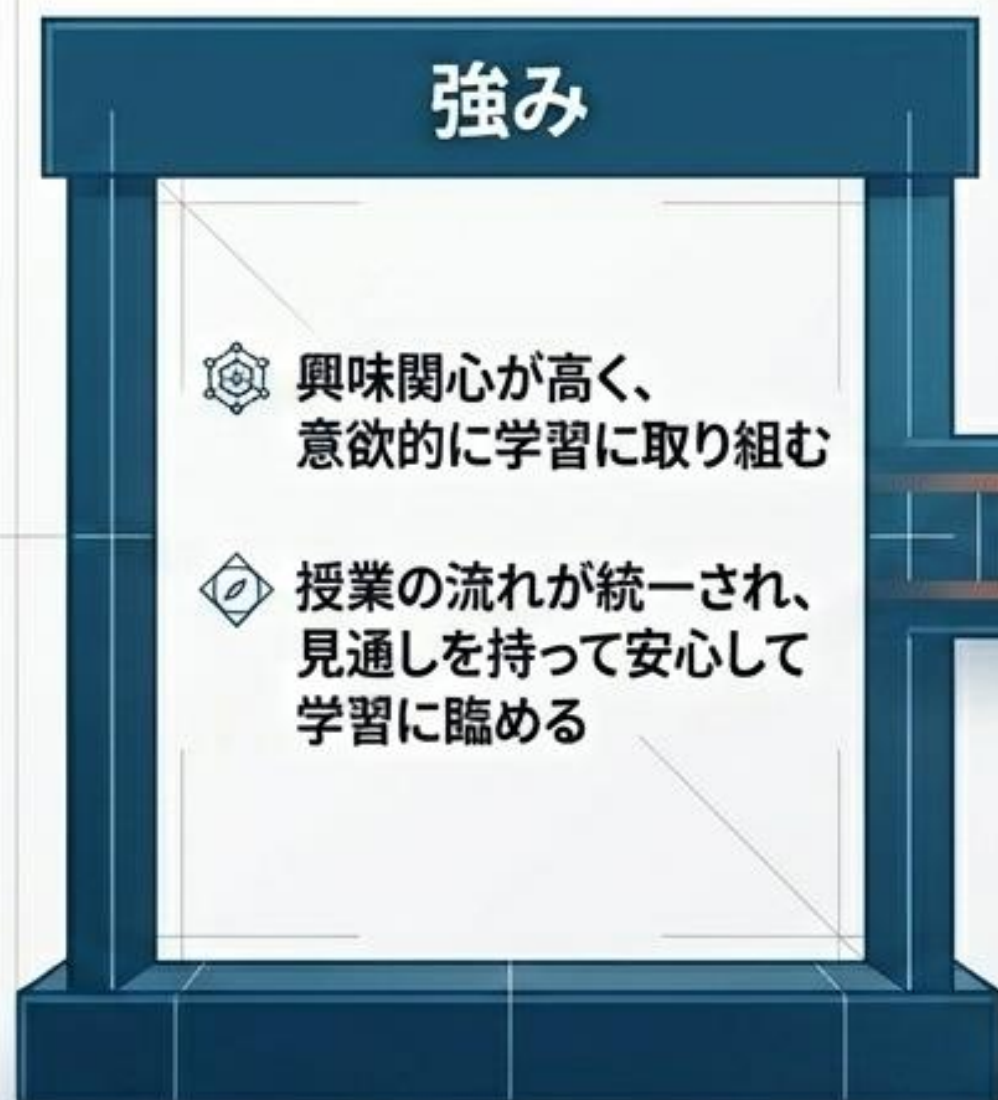
The background features a complex technical drawing with various architectural and engineering sketches. It includes a perspective view of a building with a gabled roof, a floor plan with a table and chairs, a network diagram with nodes and connections, a line graph, a circuit board layout, and a 3D perspective of a multi-layered structure. The drawing is composed of thin black lines and some orange highlights.

2026年度 校内研修・研究 全体構想

私たちの原点：教師の成長が、子どもの豊かな学びを創る



現在地：児童の「見通しと意欲」の先にある課題



「課題解決に向けて、自分の考えを持って 進んで学びに向かう子どもの育成」

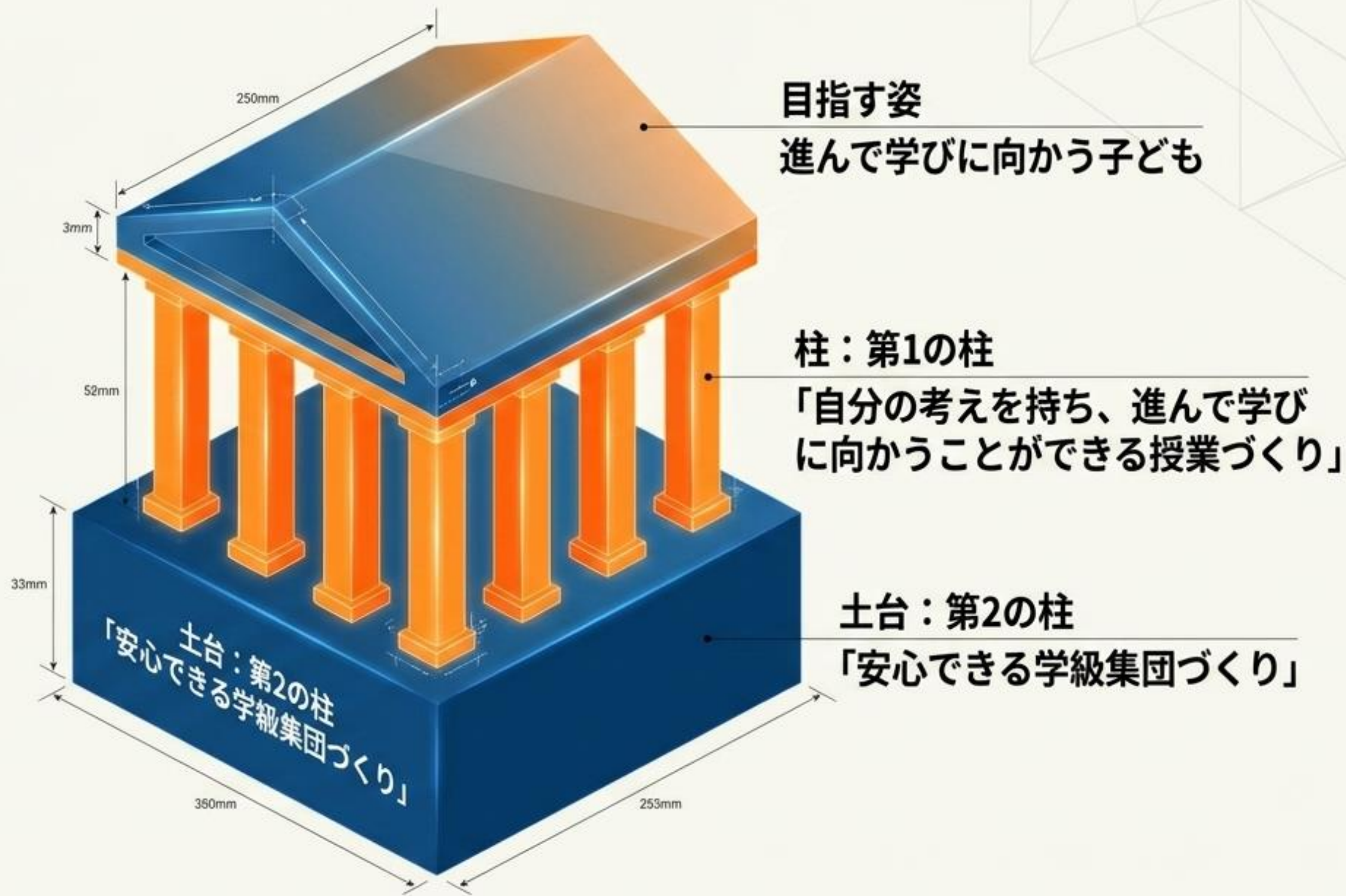
～自分の考えを持たせるための指導の工夫～

課題設定

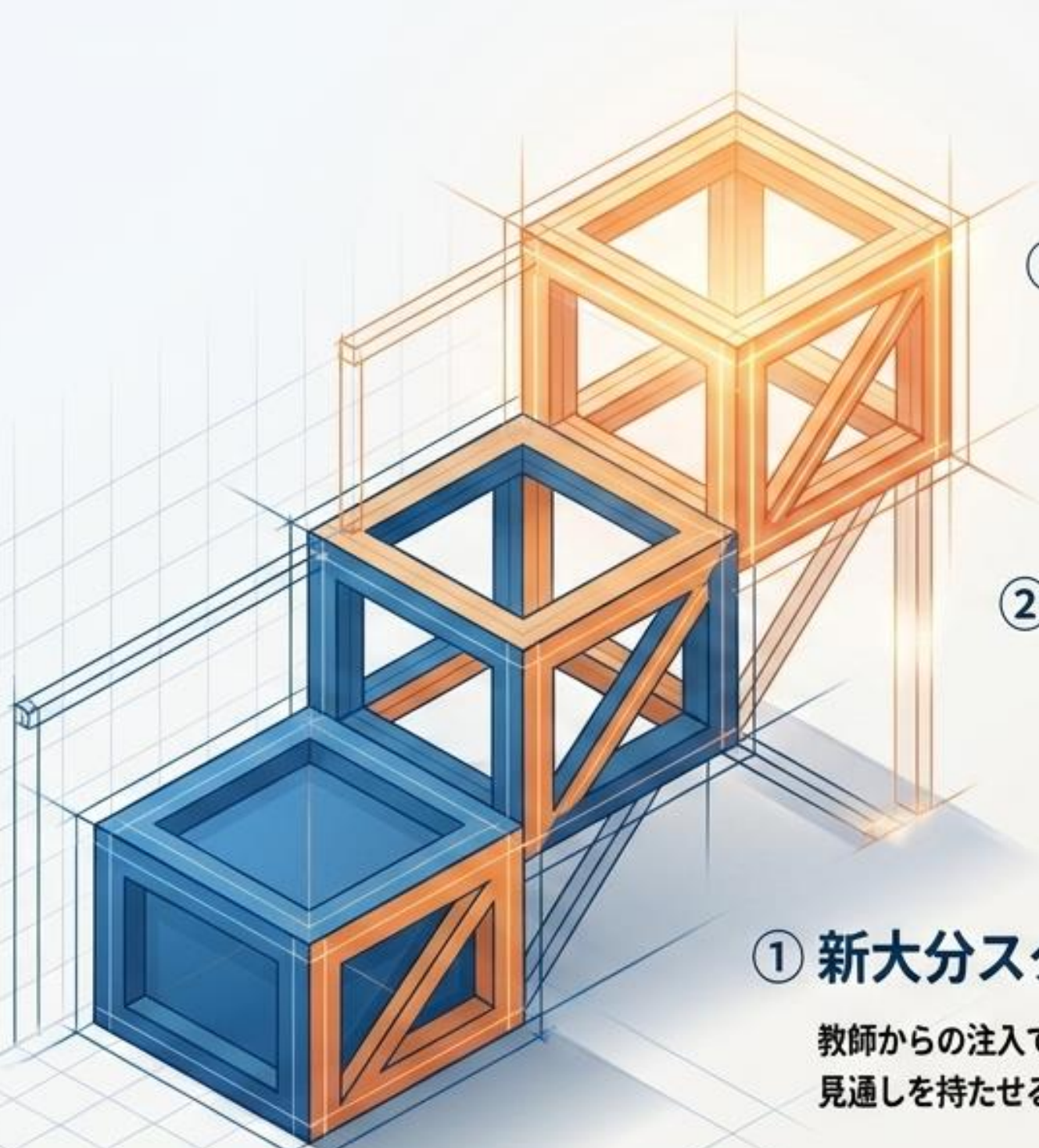
伝え合い活動

「新大分スタンダード」と「みんな活躍授業」を土台に、一人ひとりが見通しを持てる『課題設定』と『伝え合い・グループ活動』を仕組む。これにより、主体的に考え、進んで学びに向かう力を引き出す。

学びを構築する設計図：研究を支える2つの柱



第1の柱：楽しくて力の付く「授業デザイン」の解剖



③ 「課題」の設定＋伝え合い活動

子どもの学びの方向と深さを決める課題設定。
全員の参加・判断・表現を保障する「ぶらぶらタイム」の効果的活用。



② 単元構想を出発点に

単元を通して「どのような資質・能力を育成するか」を計画。
教室への単元計画表掲示による可視化。

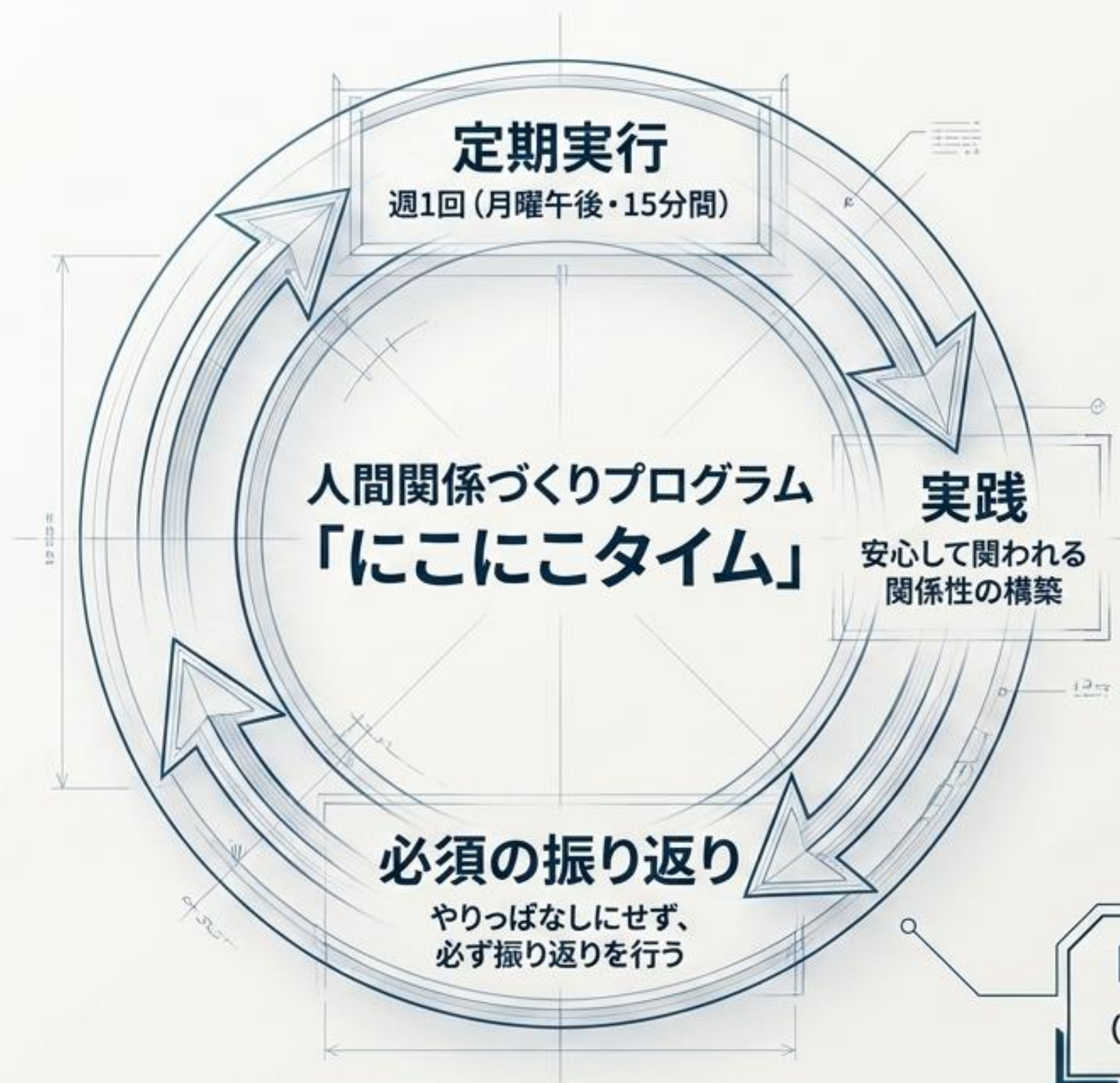


① 新大分スタンダード＋みんな活躍型授業

教師からの注入ではなく、子どもの「アウトプット」による双方向・多方向展開。
見通しを持たせる「板書の構造化」（板書グッズ活用）。



第2の柱：学びの土台となる「安心できる学級集団づくり」



「人権授業」との連携
(中津市共通教材・年2回の人権学習)

研修システム：互いの力量を引き上げる「学びの歯車」

- 提案授業(教科+人権)と事後研
- 付箋や形態を工夫し、全員が意見を言える事後研



- 提案授業(教科+人権)と事後研
- 付箋や形態を工夫し、全員が意見を言える事後研

- 互いに授業を見合う1週間

第3水曜日
の研修

- 学びアップ研修(明日から使えるスキルの共有)
- 人権研修(にこにこタイム内容等)